

## 授業科目

## 福祉文化論

担当教員名 青柳 親房	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	○

## 授業の概要

さまざまな福祉文化をスポーツ、芸術、宗教、メディア、科学技術等の諸相から取り上げ、福祉の「文化化」、文化の「福祉化」について考察する。

## 授業の目的

さまざまな福祉文化に係る実践に触れ、「福祉文化」とは何かを理解する。また、社会福祉における文化や価値をめぐる問題について検討を深め、多様な価値が共存する文化について考察する。

## 学習目標

1. 福祉文化に関する知識を修得する
2. さまざまな福祉文化実践に触れ、感じたことを表現し合う
3. 多様な価値を有する人々の生き方や個性、自己実現の方法を理解する
4. 福祉文化に関して自分なりの意見を持ち、他の学生とコミュニケーションを図る

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	講義	青柳 親房
2	福祉文化とは(1):概要	講義	青柳 親房
3	福祉文化とは(2):歴史	講義	青柳 親房
4	福祉文化とは(3):背景	講義	青柳 親房
5	文化の多様性を考える(1)	講義・ディスカッション	青柳 親房
6	文化の多様性を考える(2)	講義・ディスカッション	青柳 親房
7	福祉文化をさぐる(1)	講義・グループ学習	青柳 親房
8	福祉文化をさぐる(2)	講義・グループ学習	青柳 親房
9	地域社会と福祉文化(1)	講義・グループ学習	青柳 親房
10	地域社会と福祉文化(2)	講義・グループ学習	青柳 親房
11	福祉文化の実際(1)	講義・グループ学習	青柳 親房
12	福祉文化の実際(2)	講義・グループ学習	青柳 親房
13	福祉文化の実際(3)	講義・グループ学習	青柳 親房
14	福祉文化の実際(4)	講義・グループ学習	青柳 親房
15	まとめ	講義	青柳 親房

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	講義に必要な資料を配布する。					
参考書	適宜、授業に必要な参考書を紹介する。					
その他の資料						

## 評価方法

1. 課題の提出内容(約5割)、2. 授業への参加度合(約5割)を評価する。

## 履修上の留意点

## オフィスアワー・連絡先

研究室 F 1 0 5 (講義時間を除き、原則として火曜日から金曜日まで在室)  
E-mail chikafusa-aoyagi@nuhw.ac.jp